



平成28年11月11日

各 位

会 社 名 三菱製紙株式会社
 代表者名 取締役社長 鈴木 邦夫
 (コード番号 3864 東証 第一部)
 問合せ先
 経理部長 及川 浩典
 (電話 03-5600-1407)
 広報・IR室長 白川 文人
 (電話 03-5600-1485)

平成29年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

平成28年5月12日に公表いたしました平成29年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と本日公表の実績値との間に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

また、平成29年3月期通期連結業績予想を下記の通り修正いたしますので、併せてお知らせいたします。

記

1. 平成29年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異 (平成28年4月1日～平成28年9月30日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 1株当たり四半期純利益 |
|-----------------------------------|---------|-------|------|------------------|-------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想 (A) | 108,000 | 1,500 | 500 | △500 | △14.63 |
| 実績値 (B) | 100,375 | 1,980 | 500 | △294 | △8.61 |
| 増減額 (B-A) | △7,624 | 480 | 0 | 205 | |
| 増減率 (%) | △7.1 | 32.0 | 0.1 | — | |
| (ご参考)前期第2四半期実績 (平成28年3月期第2四半期) | 107,046 | 594 | 122 | △512 | △14.99 |

平成28年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

2. 平成29年3月期通期連結業績予想値の修正 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属する当期純利益 | 1株当たり当期純利益 |
|-------------------------|---------|-------|-------|-----------------|------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想 (A) | 220,000 | 4,500 | 2,500 | 1,000 | 29.25 |
| 今回修正予想 (B) | 207,000 | 4,500 | 2,500 | 1,000 | 29.25 |
| 増減額 (B-A) | △13,000 | — | — | — | |
| 増減率 (%) | △5.9 | — | — | — | |
| (ご参考)前期実績 (平成28年3月期) | 216,340 | 3,872 | 2,216 | 2,217 | 64.85 |

平成28年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に株式併合が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

3. 差異及び修正の理由

(1) 第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異の理由

売上高は、洋紙の需要が低調であった影響と市況が弱含みで推移したこと、急激に進んだ円高の影響を受けたことなどにより、業績予想を下回りました。

営業利益は、原燃料価格安による原価低減を主因とし、業績予想を上回りました。

経常利益は、営業利益の増加はありましたものの、外貨建資産・負債の評価替えにおいて発生した円高による為替差損の計上などがあり、業績予想通りとなりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券売却益を計上したことなどにより、業績予想を上回りました。

(2) 通期連結業績予想修正の理由

売上高は、当第2四半期連結累計期間と今後の動向を踏まえて修正いたしました。

利益面については、平成28年5月12日に公表いたしました内容から変更はありません。

(注) 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上